

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 北九州市立高槻小学校

① 学習指導案

プログラム	No.8「わたしたちのまちに言葉の贈りものをしよう」
単元名 (全8時間)	わたしたちのまち「高槻」を大好きになろう ～言葉で表現する高槻のまち～
学習のねらい	○ 自分のまちのよさについて、いろいろな見方や考え方に違いがあることに気付く。 ○ 情報収集力を身に付け、情報を効果的に伝えていく方法を工夫する。 ○ まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。
学習内容	1 情報収集などの活動を楽しみながら、意欲的に取り組み、地域に関心をもつ。 2 活動を通して得た情報や知識を自分の課題に生かす。 3 活動を通して得た情報や知識をもとにして、地域のよさを見出す。 4 感じたことや気付いたことを、わかりやすく効果的にまとめる。
参考資料 準備品 実施場所等	・タブレット端末（1人1台）、プリンター ・地域地図、市内のほたるガイドブック ・槻田川、高槻市民センター

学習の流れ

学習活動
・第1学年 単元名「高槻の自然を見つけよう」 校内やその周辺の虫、植物、生き物について調べる。 ・第2学年 単元名「高槻の自然を知ろう」 校内やその周辺の虫、植物、生き物について調べる。 ・第3学年 単元名「高槻探検隊—高槻じまんカードを作ろう—」 地域の方々へのインタビューをする等して、高槻のまち自慢を調べる。 ・第4学年 単元名「わたしたちのみち—通学路安全マップをつくろう—」 通学路の確認、通学路の周りや、住み慣れた、行き慣れた道調べ。 ・第5学年 単元名「高槻の自然を守ろう—ほたるの飼育を通して—」 槻田川の環境調べ、蛍の飼育について調べる。 ・第6学年 単元名「高槻のまちに言葉の贈りものをしよう—言葉で表現する高槻のまち—」 高槻のまち（建物、場所、自然、行事など）を調べたり、インタビューしたりしたことを、写真や言葉を添えて、自分たちのまちを表現する。

- ・全学年（第1～6学年）
全校で、槻田川の清掃に取り組む。

＜留意点＞

- ・一人一人が自分事として取り組んでいけるよう、個別に学習活動を支援していく。

② 事業実施報告書詳細

学校名 北九州市立高槻小学校

【第3学年の活動】

＜目標＞

校区探検や地域の人々とのかかわりによって見つけた「高槻自慢」を発信し、紹介する活動を通して、地域に暮らす人々との思いや願いに気付く。また、地域の伝統や独自性について考えることができるようにするとともに、学んだことを自ら生かそうとする態度を育てる。

	学習活動	評価
気づく	高槻のまちについて、自分たちが知らないことや、もっと知りたいことなどについて話し合う。 ・高槻には自慢できるものがあるね。 目標を設定する 「高槻じまんのカードをつくろう」	活動の意欲 課題の設定への意欲
調べる	各グループに分かれて、それぞれが調べるための計画を立てる。 1. 自然のこと  2. 市民センターの機能  3. ほたるについて  4. 公共の施設・公園 	インタビューのしかた メモ・観察の能力
考える	インタビューしたことや調べたこと 写真を撮った場所などを整理し、どのようなカードにするか。	表現力 (作品)

	カードには何を書くか考える。  	情報処理能力
行動する	カードを提示し、高槻のまちじまんについて振り返る ・学校図書館への掲示 ・市民センターへの掲示  	

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 「高槻のまち」をテーマに、低学年は生活科、中学年、高学年は総合的な学習の時間にと全学年で取り組むことができたこと。 地域の方々（市民センター館長、ほたる飼育の方など）との交流を通して、「高槻のまち」について学習できたこと。
(2) 実施にあたり苦労した点 小学校と公共施設（市民センターなど）の日程調整（見学やインタビューなどの打ち合わせ）
(3) 児童の反応 低学年…「高槻のまち」を探検して、たくさんの自然を見つけることができた。きまりやマナーを守って、公園で遊びたい。 中学年…小学校周辺を調べ、「高槻のまち」のじまんできるところをたくさん知ることができた。市民センターにわたしたちが調べた「高槻のまちのじまん」を掲示してもらったので、市民センターを利用している方々に見てもらいたい。 高学年…高槻小学校では5年生が、ほたるの飼育をしています。6年生や地域の方々から学んだことをもとに、ホタルが住み続けられるように槻田川をきれいに保っていきたい。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 児童とともに「高槻のまち」について調べ、まちの魅力を見つけることができた。学校は地域という社会の中にあり、地域の方々に支えられていることを感じた。生活科や総合的な

学習の時間だけでなく、他の教科においても地域の方々と連携していきたい。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕
今回の取組を、次年度にも継続していきたい。ほたる飼育や市民センターなど地域の方々と連携したり、中学校区（近隣の中学校、小学校）とも共同的な学習を組んだりして、児童のまちへの関心やまちの自然や景観を大切にしていこうとする心を育てていきたい。